

藤枝市文学館第40回企画展

加藤まさを 抒情画の世界

花 と 少女



『少女倶楽部』昭和4年7月号付録「薔薇」

平成27年6月7日(日)～7月5日(日)

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子 500 番地(蓮華寺池公園内)

TEL: 054-645-1100 FAX: 054-644-8514

Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp [検索](#)

休館日: 月曜日(祝日は開館、翌日休館)

開館時間: 午前9時～午後5時

入館料: 大人 200円 (団体(20名以上の場合) 160円)

中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方は無料
(郷土博物館・文学館共通)

花 と 少女

藤枝市文学館第40回企画展

加藤 まさを 抒情画の世界

加藤まさをは、抒情画家として、また詩人・小説家として、多くの作品を発表しました。少女雑誌などを主な活躍の場とし、その作品は大正から昭和初期の少女たちに大変な人気を博しました。また、それらは時代を超え、今でも私たちを美しい世界へと誘います。

本展示会では、「花」と「少女」をモチーフにした作品を紹介します。薔薇を持ち遠くを見つめる少女、白百合に囲まれ物憂げな表情を見せる少女…少女たちは何を想うのでしょうか。また、ヒヤシンスやすみれ、すずらんなどの“花の精”たちは、何を語のでしょうか。作品の背景にあるであろう物語を思い浮かべながら、加藤まさをの作品世界を是非ご堪能ください。

加藤 まさを (1897-1977)

静岡県藤枝市生まれの抒情画家・詩人。大正から昭和にかけて、竹久夢二や高島華宵、露谷虹児らとともに抒情画の全盛期を築いた。

幼いころから絵を描くことや歌を歌うことを好み、学生時代から詩や童謡、画を発表していた。上方屋平和堂から刊行された絵はがきが人気を呼び、一躍有名となる。大正12年に発表された「月の沙漠」は、佐々木すぐるにより美しい曲を得て、今も広く愛唱されている。



関連イベント “ロザフィ” 薔薇のアクセサリー作り

と き／6月27日(土)

①午前10時30分～正午

②午後1時30分～午後3時

ところ／郷土博物館講座視聴覚室

定 員／各回10名

対 象／一般(小学4年生以下は保護者同伴)

参加料／1,000円(バッグチャームかネックレスをお選びいただけます)

講 師／詩歌さん(日本ロザフィ協会認定講師)

申込み／6月2日(火)午前9時よりTEL・FAX・Eメールで文学館へ

TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp



『少女の友』絵はがき「夏の最後の薔薇」



上方屋平和堂絵はがき
『花の精 第4輯』「ヒヤシンスの調べ」



花物語便箋「白百合」

同時開催 郷土博物館企画展「東海道浮世絵展」

歌川広重の最高傑作「保永堂版東海道」のうち、県内二十二宿の浮世絵を展示します。併せて、藤枝宿・岡部宿の多彩な浮世絵や、人気浮世絵師の美人画シリーズなどを公開します。展示会期、入館料は文学館企画展「花と少女」と共通です。



歌川広重 保永堂版「東海道五拾三次」蒲原



歌川広重 隸書版東海道 藤枝(田中城遠望)